

PI 泣かせの研究データ管理を DMP ベースで如何にアシストするか？ - ソリューション案 -

平木俊幸

国立情報学研究所
オープンサイエンス基盤研究センター

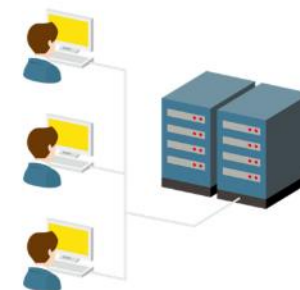
（課題１）研究データの保存・公開手続きの簡素化

- 成果発表にともなう行動の在り方（理想）
 - GakuNinRDM を起点とした保存と公開
 - 研究公正のための研究データ10年保存の機能
 - 分野別リポジトリから機関リポジトリへのメタデータ変換



（課題２）研究データガバナンスのための権限制御

- 研究データのアクセス権限の適切かつ柔軟な設定
 - 研究データの保存（「大学」のデータガバナンス）
 - 保存前： PI, グループメンバーによる適切な編集/アクセス権
 - 保存後：
 - 機関の研究データ倫理責任者（部局長など）へのアクセス権の付与と制御
 - PI, グループメンバーの編集不可
 - アクセス権付与者の移行
 - 研究データの利活用（「研究室」のデータガバナンス）
 - 加入者, 離籍者の編集/アクセス権



（課題３）DMPの整合性・移植性・実効性

- DMP作成の主要目的：
 - 研究グループメンバーが迷わず行動できること（グループのポリシーを作成し共有する）



計画時

- PI が作成するDMPが大学ガイドラインと整合すること（整合性）
- 大学のガイドラインで規程されない範囲のグループポリシーをPI が定めること（整合性）

計画後

- 作成したDMPを助成機関のDMPに（可能な限り）流用できること（移植性）
- 作成したDMPに沿った研究データ管理の遂行をPIが把握できること（実効性）



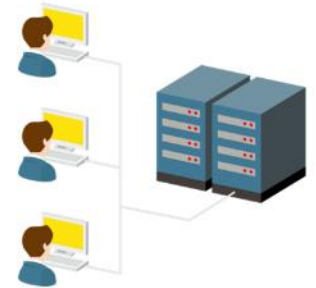
(課題1) 研究データの保存・公開手続きの簡素化

- 成果発表にともなう行動の在り方(理想)
 - GakuNinRDM を起点とした保存と公開
 - 研究公正のための研究データ10年保存の機能
 - 分野別リポジトリから機関リポジトリへのメタデータ変換



(課題2) 研究データガバナンスのための権限制御

- 研究データのアクセス権限の適切かつ柔軟な設定
 - 研究データの保存 (「大学」のデータガバナンス)
 - 保存前: PI, グループメンバーによる適切な編集/アクセス権
 - 保存後:
 - 機関の研究データ倫理責任者 (部局長など) へのアクセス権の付与と制御
 - PI, グループメンバーの編集不可
 - アクセス権付与者の移行
 - 研究データの利活用 (「研究室」のデータガバナンス)
 - 加入者, 離籍者の編集/アクセス権



(課題3) DMPの整合性・移植性・実効性

• DMP作成の主要目的:

- 研究グループメンバーが迷わず行動できること (グループのポリシーを作成し共有する)



• 計画時

- PI が作成するDMPが大学ガイドラインと整合すること (整合性)
- 大学のガイドラインで規程されない範囲のグループポリシーをPI が定めること (整合性)

• 計画後

- 作成したDMPを助成機関のDMPに (可能な限り) 流用できること (移植性)
- 作成したDMPに沿った研究データ管理の遂行をPIが把握できること (実効性)



【今回の焦点】研究データ管理状態の見える化。

PI として、

- 方針を研究分担者から見えるようにしたい。
 - ポリシールールの定義とリストアップ
- DMPに沿った研究データ管理の遂行を把握したい。
 - DMPの設定
 - 個別データセットのデータ管理状態の表示
- どれが長期保存対象か把握したい。
 - データセットの把握、論文との関連付け

方針を研究分担者から見えるようにしたい

PI が設定したポリシー・ルールをブラウザ上で
研究分担者に共有（現在は名大テンプレートに対応）

DG-rdc-portal-test4

project 編集 GAKUNIN RDM で開く

概要 DMP 1 資金情報 1 コラボレーター 6 データセット >

フィルター

検索

カテゴリ All

スコープ All

ステータス すべて

19 件を表示中 (全 19 件)

研究データの命名規則 preservation 有効

バックアップ体制 Data Preservation 有効

研究データの命名規則

preservation 有効

説明
研究データの命名規則(年月日やアンダーバーの記載など)を記述してください。

値 値タイプ
yyyyymmdd_作成者氏名_ファイル説明. 拡張子 string

適用範囲
All Project Manager Researcher Data Manager

作成日 最終更新日 施行日
2025/9/30 2025/10/8 2025/10/1

見直し予定日
2026/3/31

バックアップ体制

Data Preservation 有効

説明
バックアップの頻度、バックアップ先について記述してください。

値 値タイプ
週1回自動バックアップを実施、外部媒体にも定期保存 string

適用範囲
All Project Manager Researcher Data Manager

作成日 最終更新日 施行日
2024/1/10 2025/10/8 2025/8/1

見直し予定日
2025/12/1

DMPに沿った研究データ管理の遂行を把握したい

DMPに登録されたデータセットの一覧を、
研究データ管理状態（DMPに沿っているかどうか）
と一緒に表示

フィルター

検索

ライフサイクル

すべて

カテゴリ

すべて

RDMステータス

すべて

1件のデータセットを表示中 (全1件)

画像認識モデルv3

Numerical Model Numerical Model Analyzing **NG**

鈴木 花子 クラウドストレージ Private

[🔍 詳細を見る](#)

データセット詳細 ✕

基本情報

データセット名
画像認識モデルv3

カテゴリ オブジェクトタイプ

Numerical Model Numerical Model

データ管理

データ作成者
佐藤 太郎

データ管理者
鈴木 花子

取得日
2024-01-15

コンプライアンス

個人情報を含む 人を対象とするデータ

いいえ いいえ

公開情報

公開レベル

Private

ライフサイクル・ステータス

ライフサイクル RDMステータス

Analyzing **NG**

⚠️ アクションが必要です
メタデータが不足しています

どれが長期保存対象か把握したい

ポリシーで長期保存対象データを明示

「関連論文」があるこのデータセットは
長期保存対象であると判断できる。

 **保存対象データ** 編集 GAKUNIN RDM で開く 削除

DG-rdc-portal-test4

ステータス

☒ アクティブ

カテゴリ

Data Preservation

対象ロール

All

説明

どのようなデータが保存対象となるかについて記述してください。

設定値

論文の根拠データ等、保存規程に基づく
値のタイプ: string

 **画像認識モデル** 編集 GAKUNIN RDM で開く 削除

DG-rdc-portal-test4

ライフサイクル

Analyzing

RDMステータス

NG

関連論文

Research Data Management in AI Development Projects

忙しい人のために：AI アシスタント

質問一つで、あなたのプロジェクト内情報に基づきスマートに回答。

RDM アシスタント

研究データ管理に関する質問をAIに問い合わせることができます。

有効なAI: GEMINI

設定を変更

AI モデル

Google Gemini

質問を入力してください

データセットの管理状況を要約してください

質問する

質問例:

プロジェクトの数と進行中のプロジェクトを教えてください

データセットの管理状況を要約してください

DMPの提出状況を確認してください

AI
が
回
答

データセット管理状況の要約

現在、計4件のデータセットが登録されており、その管理状況は以下の通りです。

1. **全体概要**:

- * **総データセット数**: 4件
- * **RDMステータス**:
 - * **OK**: 2件 (50%) - 管理が適切に行われているデータセット
 - * **NG**: 2件 (50%) - 管理上の課題があるデータセット

2. **RDMステータス「NG」のデータセットと対応が必要な事項**:

- * **画像認識モデルv3**:
 - * **関連プロジェクト**: 「次世代AI基盤研究」
 - * **現在の課題**: **メタデータが不足しています。データセットの識別、再利用性、検索性を高めるために、詳細なメタデータの追記が求められます。
 - * **ライフサイクル**: Analyzing (分析中)
- * **ゲノムシーケンスデータセット**:
 - * **関連プロジェクト**: 「量子コンピューティング応用」
 - * **現在の課題**: **同意書の納付けが必要です。倫理的・法的な側面から、データの収集や利用に関する適切な同意書の管理が急務です。
 - * **ライフサイクル**: Collecting (収集中)

3. **RDMステータス「OK」のデータセット**:

- * **交通量調査データ2025**:
 - * **関連プロジェクト**: 「自動運転システム評価」
 - * **ライフサイクル**: Published (公開済み)
- * **日本語コーパスv1.2**:
 - * **関連プロジェクト**: 「自然言語処理モデル開発」
 - * **ライフサイクル**: Stored (保存済み)